

事業の基礎情報

事業実施地域	福岡県北九州市など
人材育成の対象	高大生及び「公共交通分野」関連組織などを対象とする。
人材育成の手法	「公共交通分野」有識者の基調講座及びレゴ®シリアスプレイ®ワークショップを行う。
人材育成の内容	本事業によって、「公共交通分野」を社会地域課題として、解決する人材を育成する。
想定育成人数	基調講座及びLSPWSをワンセット約20名を対象とし、20セット実施し、約400人を想定する。

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

北九州市が新たに策定した基本構想・基本計画では、北九州市が目指す都市像として『つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市・北九州市』が示されており、これを実現するための重点戦略として「稼げるまちの実現」などが掲げられている。

この「稼げるまち」の実現にあたっては、産学官民の連携により、陸・海・空のネットワークの構築や近隣自治体との連携などの「稼げる基盤」を強めていくとともに、若者や女性を始めとした多様な人材の就業や起業を後押しする「稼げる人」の育成を進めていくこととされており、本事業では、高大生や「公共交通分野」関連組織などを対象として、「公共交通分野」を社会地域課題として、解決する人材を育成するもの。

(事業の概要)

高大生や「公共交通分野」関連組織などを対象として、「公共交通分野」有識者による基調講座を3段階に分けて行う。第1段階として国の施策である①デジタル田園都市国家構想や②地域の公共交通リ・デザイン実現会議、第2段階として地域の施策である③地域公共交通計画、④交通政策、⑤道路行政、第3段階として産学官の施策である⑤MaaSの取組について、基調講座を行う。基調講座を受け、探究ツールとして「レゴ®シリアスプレイ®ワークショップ」により、共創プラットフォームのメンバーによる社会人伴走及び産学官金メディア連携による協業を通じて、「公共交通分野」における「社会地域課題」を見出し、どのような課題解決策があるのか探究することを主眼とする。

Greater北部九州圏SDGs魅力探究プログラムDO！起業学校

～Greater北部九州圏の魅力をリ・デザインで探究する！～

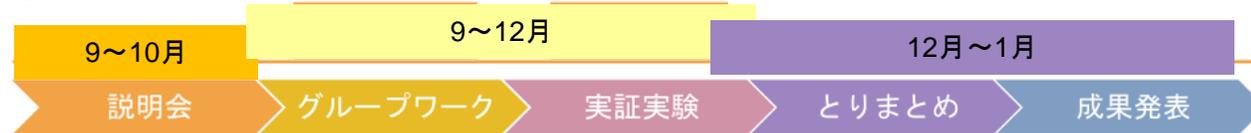
第一ピアサービス株式会社

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

北九州市においては、基本構想・基本計画（令和6年3月）が示され、「稼げるまち」の実現にあたっては、産学官民の連携により、陸・海・空のネットワークの構築や近隣自治体との連携などの「稼げる基盤」の構築が謳われ、「公共交通分野」における地域交通と他分野の連携を推進するコーディネーター人材や地域の交通のマネジメント人材などの育成が早急に望まれるところであり、本事業により約400名の人材育成がなされることはビッグピクチャーになる。

(事業実施手順・スケジュール)



□生徒の皆さんへ
社会地域課題とカリキュラムについて説明会

□社会人伴走者へ
社会地域課題に向けた学生との協働について
・コミュニケーション方法
・学生の生きる社会背景



①モビリティ人材等有識者による基調講座

②チームビルディング
社会地域課題の確認
チームビルディング

③クエスト開始！
実際に課題に挑む
・調べる
・聞く、考える
・仮説の設定
・課題解決の設計

★事務局のサポーターが進行をサポートします



④LSPWS
・社会地域課題の見える化
・チームの合意形成

★地域に出て、具体的な社会課題解決について、提案します。
★社会人伴走者が入ります
★事務局のサポーターが進行をサポートします

⑥発表準備
発表資料のまとめ
発表の準備・練習

★発表に向けた準備をします
★事務局のサポーターが進行をサポートします

⑥成果発表
チームごとに発表

★外部の大会などへのチャレンジも応援します！



2月実施報告

(補助事業実施後の予定)

課題テーマ・課題解決計画を立てる

課題解決を考える

課題解決を提案する

課題解決に向けたまとめを行う

社会へのアプトプットへ

令和4年度に高等学校で「探究学習」が必須科目となったものの、どのように授業を進めていくか、模索している学校が多いと伺っている。そのため、本事業を契機に、各学校が公共交通に関心を寄せることが出来れば、今後とも、「モビリティ人材育成」を広げていく絶好の機会になると考えている。また、北九州市における取り組みを近隣市町村をはじめとする九州および全国へ横展開する絶好の機会でもあり、さらに、「公共交通分野」関連組織などを対象に事業実施することにより、即戦力の「公共交通分野」人材の全国波及が見込める。